

ケッティーのFX講座

テクニカル分析

～通貨の相関性編～

By ケッティー

# 注意事項

## ■著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。

本冊子の著作権は、発行者にあります。

本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

## ■使用許諾契約書

本契約は、本冊子を購入した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

### 第1条 本契約の目的:

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

### 第2条 禁止事項:

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、この書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

### 第3条 損害賠償:

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

### 第4条 契約の解除:

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

### 第5条 責任の範囲:

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

## 通貨の相関性とは

トレードをする際には通貨の相関性を確認する必要があります。  
それぞれの通貨がどのような相関性があり、それをどのようにトレードに活かしていくのかを見ていきましょう。

### ドルストレートとクロス円

ドルストレートとは以下のような通貨を指します。

EUR/USD	NZD/USD
GDP/USD	USD/CAD
AUD/USD	USD/CHF

クロス円は以下のような通貨を指します。

EUR/JPY	GPD/JPY
AUD/JPY	NZD/JPY
CAD/JPY	CHF/JPY

基本的にUSD/JPY(ドル円)以外のクロス円は合成通貨と呼ばれ、実際の取引はありません。

この合成通貨の取引ではドルストレートとドル円の二つの通貨の影響を受けて値が動いていきますので、注意が必要です。

## 合成通貨の特徴

### 合成通貨の成り立ち

$$\frac{\text{EUR}}{\cancel{\text{USD}}} \times \frac{\cancel{\text{USD}}}{\text{JPY}} = \frac{\text{EUR}}{\text{JPY}} \qquad \frac{\text{GDP}}{\cancel{\text{USD}}} \times \frac{\cancel{\text{USD}}}{\text{JPY}} = \frac{\text{GDP}}{\text{JPY}}$$

クロス円を通貨取引に選択する時には、例えばユーロ円であれば、ユーロドルとドル円の影響を受けますので、この二つの通貨がどのように動いているかで、取引通貨としてトレードするか、しないかを定める必要があります。

ドルストートとドル円、そしてクロス円の3通貨がどのように影響し合うのかを確認してきましょう。

ユーロドル	×	ドル円	=	ユーロ円
上昇↑	×	上昇↑	=	強い上昇↑↑
下降↓	×	下降↓	=	強い下降↓↓
上昇↑	×	下降↓	=	乱高下やどっちつかずの値動き 最後はどちらかに付いて行く場合も
下降↓	×	上昇↑	=	乱高下やどっちつかずの値動き 最後はどちらかに付いて行く場合も

取引通貨としては控える

## 合成通貨の特徴

それではもう少し詳しく合成通貨の動きを見ていきましょう。

ドルストレート	×	ドル円	=	クロス円
上昇↑	×	上昇↑	=	強い上昇↑↑
下降↓	×	下降↓	=	強い下降↓↓
上昇↑	×	横ばい→	=	上昇↑
横ばい→	×	上昇↑	=	上昇↑
下降↓	×	横ばい→	=	下降↓
横ばい→	×	下降↓	=	下降↓
上昇↑	×	下降↓	=	乱高下やどっちつかずの値動き 最後はどちらかに付いて行く場合も
下降↓	×	上昇↑	=	乱高下やどっちつかずの値動き 最後はどちらかに付いて行く場合も

クロス円を取引する時は、影響を受けるドルストレートとドル円が同一方向にトレンドが発生している時にトレードすることをお勧めいたします。必ずしも上記の表のような動きをするとは限りませんが、このような値動きになることが高い事を表しています。

## ドルストレート通貨取引におけるダマシ回避

ドルストレート通貨で取引するに当たり、ダマシを回避する方法は以下の通りです。

- ドルストレートの一つの通貨だけを見ずに2通貨以上を表示させておき、それぞれの値動きを観察する。
- エントリーしている通貨のみが指標がなどがないのに、他の通貨と逆方向に動いている場合は要注意。
- 他の通貨と同じ方向に動き、またそれぞれの通貨が同方向にトレンドが発生している場合は、ダマシに合う確率も低くなる。

以上がトレードするに当たり、最低限知っておきたい通貨の相関性です。

それぞれの特徴をぜひご自身でチャートで確認してみてください。

そして、シナリオ想定をする際に、どの通貨がボラティリティが高く、想定しやすい通貨かを